



東村山市民テニスクラブ協議会機関紙

コートと担当担当クラブ

3月4	月分のコート	繰り延べ分があるのでは
4月5	月分のコート	本町B
5月6	月分のコート	青葉A

発行責任者 柳 利夫  
 住所 東村山市萩山町 5-6-26-301  
 Tel. 0423-95-9849  
 編集責任者 川村英明

### 市民テ 第12回定期総会報告

3月4日(日) 2時半から、東村山市民スポーツセンターに於て、第12回定期総会が開かれはした。出席会員は40名で、熱心な討議をつうじて、市民テの新たな発展を創り出す活動のあり方を確認して6時に終了しました。

総会は太田芳郎名誉会長の挨拶で始まり、「テニスをつうじて、われわれの日常生活の中に残るもの、地域の生活の中に残るものを大切にしたい」と、示唆に富んだお話をいただきました。柳会長の挨拶につづき、お忙しいなかを来賓としてご出席下さった市教育委員会体育課の横井課長、田口係長から丁寧なご挨拶をいただきました。ありがとうございました。つづいて、広瀬裕さん(東住)に議長を、上野一彦さん(恩多)に副議長をお願いして議事に入りました。

#### (1) 昭和58年度活動報告

##### 1. 一般報告(荻野井事務局長)

	新会員	総人員(含休部)	対前年増減
1. 昭和58年度の会員数			
創立以来、最高的人数となる。	東住クラブ 19	69	+4
	恩多 18	105	+7
2. 久米川コート存続の危機	本町 18	82	-5
市と地主との間での話し合い難航のありで、	青葉 17	69	-
	美住 23	81	+7
① 早朝練習に制限、	計 95	406	+13
② 第2物置設置計画を順延			
③ 10周年記念の植樹未着手			
3. 市民大会での市民テニスクラブの活躍実績を紹介			
春季大会 優勝3, 準優勝3, 第3位3			
秋季大会 優勝2, 準優勝6, 第3位10			

	男D	女D	社D	混D
春季				
優勝		武田 吉永	高瀬 和	長井 武田
準優勝	山本 長井	山口 松本		広瀬 広瀬
3位	常広 押阪		米沢 横山	吉永 吉永
秋季				
優勝	横井 木村	武田 吉永		
準優勝		山口 松本 増本 江原	中根 笹井	(B) 岩立 (A) 増本 米沢
3位	武田 吉永 長谷川 松村 岩立 田中	中川 木村 山崎 健山	江原 杉山 加藤 上登	(A) 菅谷 (A) 江原 荻野井



- 4. 各クラブ運営費を設定した初年度で、各クラブとも非常に有効に活用できたときいています。
- 5. 市民テ発足後10年を経るなかで、組織の運営、指導体制の工夫はなされてはいるが、400名の組織として、諸々の問題臭が指摘されています。心の通いあい、仲間意識など、初期の理念がうすめられつつある様にみられます。
- 6. 夏季合宿は、第1回の合宿地、山中湖 民宿大臼荘で実施
- 7. 女子部の設置の件は、今期中に結論を出すことになっていたのに検討がすすんでいません。大変申し訳ないが、継続事項にさせていただきます。

##### II. 技術部報告(武谷部長)

###### 1. 定期練習

(1) クラス分けはやや遅くなったが、きちんと行なうことができました。

### コート変更

恩多コート整備の為(3/21~4/5の予定)、軟式との関連で定期練習・自由練習の使用コートが変わります

	時間	久米川コート
3月24日: 土曜日	9時~13時	2面(4.5番コート)
31日: 土曜日	13時~17時	3面(1.2.3)
3月25日: 日曜日	8時~13時	3面(1.2.3)
4月1日: 日曜日	13時~17時	2面(4.5)



同時に出席券を作り参加の状況をつかむことにしました。残念ながら6月頃より紛失してしまいました。

- (2) 時間別、クラス別の練習を行なってきましたが、11時の段階で1度全員集まっての説明の時間が、中級者の時間帯及び自由コートの時間帯に食い込み、若干の不満が生じました。全体的にはこの方式が定着してきたようですが、9時の開始にやや人が少ないのは残念。
- (3) 練習方法として、初心者向はほぼパターンが定着してきました。初級・中級者向は、8月までは課題を決めて練習できましたが、秋の大会以後は技術部会が開けないこともあって、練習が散漫になりました。
- (4) やはり8月までは、練習課題に沿って各技術部員が統一して指導に当たりましたが、秋季大会以後は各技術部員まかせになりました。土曜日をきめ、技術部員が各コートに1人もいないという状況は、ほとんどありませんでした。

(5) コートへの月別平均出席者数は次の通り(記帳者のみ)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
日祝	101	63	69	-	73	78	42	63	-	55	62	48	65.4
土	58	69	63	58	59	48	34	54	44	44	53	42	52.2

(6) 2回の部内のクラブ対抗戦は大変多くのクラブ員が参加し、喜ばれました。

###### 2. ジュニア

- (1) 早朝というハンデキャップはあったが、8月頃までは出席もよく熱心に練習しました。コート使用をめぐって市、軟庭との話し合い後、コートの割り振り方が複雑になったこともあって、混乱を起きました。
- (2) 2,3年をすぎた子供の中には、身体の成長もあって、技術にも差がつかってきましたが、コート数も限られていることから十分な配慮も必ずしも出来ませんでした。
- (3) 指導に当たった技術部員に大きな負担がかかりましたが、十分な対策がたてられませんでした。
- (4) ジュニアのあり方について問題提起はありましたが検討できませんでした。

###### 3. 技術部会及び技術部研修会

- (1) 技術部会は臨時部会を含め4回開き、研修会は3回開きました。大会に入ってからでは全く開けず、全体としては、初めに決めた方針を完全に実行することができませんでした。
- (2) 決めたことについてはほぼ実行できました。(名札、名簿、コート整備、書籍の管理、練習課題の設定等)
- (3) 技術の勉強会はできませんでした。
- (4) 対外試合への参加状況及び結果について、その都度集約する手だてをとることができませんでした。

###### 4. 外部指導者によるレッスン

- (1) 市民テだけで2回開く予定が、1回しか開けず、しかも次年に食い込んでしまいました。(指導者の都合による)

59年度 春季大会 申込は (市報) 3月1日号 をみて下さい

(2) 硬庭連及び庭連協の指導者講習会には各々17名、1名の参加がありました。

5. 図書購入及び管理

今年度の図書の利用者は延34人で必ずしも多くはありません。

お色けのある人



市民テニスクラブ定期練習表

Table with columns for time (時), day (日), and court details (コート). Rows show practice times from 6:00 to 21:00, including early morning and night sessions.

☆ 原則として上記の内容で一年間実施します。なお月々のコート確保については、ガットでお知らせいたします。

ハ. 広報部報告(川村部長)

- 1. 毎月発行はできたが、発行日がかなり遅れたことがあった。行争やお知らせの時期との関係で遅らせたものもあるが、部内の準備不足で遅れてしまったものもあり、反省しています。

(2) 昭和58年度決算報告及び監査報告

早川財政部長より下記のとおり報告され、ついで横山、工藤会計監事より書面による監査報告があり、承認されました。

(3) 昭和59年度活動計画

1. 技術部活動について(武谷部長)

1. 定期練習

(1) クラス分け: これ迄通り初心、初級、中級の3クラス

- ① 初心者クラス: 今年入った会員中テニスを初めてする人又はそれ相当の人及び既存会員中特に本人が希望する人

尚、技術部出席表にクラス分けの結果を記載します。

(2) 練習時間帯: 従来通りとします(右上表)

(3) 練習内容: 昨年と同様2ヵ月単位のストローク別集中練習とします。又、練習パターンについては、あらかじめ用意します(各ク

(4) 指導体制: 昨年と同様としますが、吉永(基子)さん、武田(崇子)さん、浅見さんに新たに技術部に入ってもらいます。吉永・武田さんには初心者クラス、浅見さんには初級を見てもらいます。技術部員が少ない日や土曜日は必ずしも決まったクラスのみを見るのではなく全員で各クラスの指導を行います。

(5) 年2回の親睦団体戦

2. ジュニア

- (1) クラス分け: コートの面数からも新入会員及び一部の既会員と既会員(1年以上の経験者)の大半の2クラスとします。

3. 技術部会及び研修会

- (1) 3月(8日), 5月(3日), 6月(初), 7月(初), 10月(初), 12月(初)の6回とし、雨天の場合は次週に延ばす

(1) 市民テとして年2回を12月迄に行なう

- (2) 硬庭連の指導者講習会に15人を予定する

5. 図書の購入及び活用

若干の本の購入と共に、活用をもっと宣伝します。その意味で、「ガット」に毎回技術講座をのせる

6. 技術部員の任務分担

- 定期練習(武谷, 吉永), ジュニア(中根・藤岡) 部会及び研修会(武谷, 長井)

以下、広報部活動、事務局活動、59年度予算、59年度役員進出 は次号へ

昭和58年度会計決算報告

昭和59年度予算

Financial statement table with columns for '予' (forecast), '決算' (actual), '予算' (budget), and '考' (remarks). Rows include income and expense categories like '収入の部' and '支出の部'.

差引残高1,726,644円は、昭和59年度へ繰り越したとなります。